

1 ペリー提督来航記念碑



安政元年(1854)、5隻の艦船を率いて来航したアメリカ海軍提督M.C.ペリーの姿を忠実に再現した銅像。(作:小寺真知子)

2 旧イギリス領事館



美しい庭園に囲まれた旧外国公館。大正2年(1913)に建築され、昭和9年(1934)まで領事館として使われた。現在は開港記念館として一般公開され、各種展示のほかゆったり過ごせるティールームや売店も併設されている。
開館 9:00~19:00(11~3月は17:00)
入場料 大人300円 休 年末年始

3 元町観光案内所・元町公園



元町公園一帯はかつて箱館奉行所や開拓使、渡島支庁などが置かれた道庁行政の中心地であった。元町観光の拠点となる公園。

4 旧函館区公会堂



明治40年(1907)の大火で焼失した町会所を再建するため、豪商・相馬哲平をはじめ市民の寄附を得て、明治43年(1910)建設された。内部の装飾は明治の栄華を感じる豪華な造りの洋風建築で、昭和49年(1974)国の重要文化財に指定された。

開館 9:00~19:00(11~3月は17:00)
入場料 大人300円 休 年末年始

5 八幡坂



昔この坂の途中に、函館八幡宮があったことから「八幡の坂」と呼ばれていた。CMにも多数使われており、函館の坂の中で最も人気のある坂。

6 教会群(函館ハリストス正教会・函館聖ヨハネ教会・カトリック元町教会)



函館聖ヨハネ教会、カトリック元町教会や国の重要文化財に指定されている函館ハリストス正教会が立ち並び、夜はライトアップされ、幻想的な姿となる。

7 二十間坂



明治12年(1879)の大火後、防火帯として造成された坂で、路幅が二十間(約36m)あるので「二十間坂」と呼ばれた。

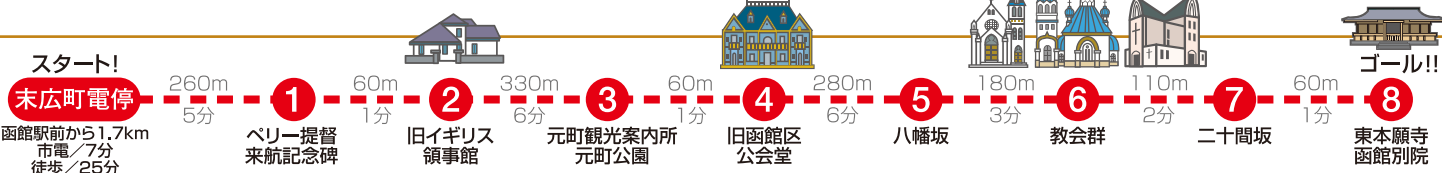
8 東本願寺函館別院



大正4年(1915)伊藤平左衛門九世の設計により建立された日本で最初の鉄筋コンクリート寺院。その後の函館の不燃建築普及に影響を与えた。平成19年(2007)に国の重要文化財指定。

これぞ王道!函館の魅力凝縮コース ~はるばる来ました函館へ~

所要時間 60分 距離 1.5km 消費カロリー 180kcal ※消費カロリーはおおよその目安です。



「チャチャ」とはアイヌ語で「おじいさん」を指し、おじいさんのように腰を曲げて歩くほど急な坂をいう意味でこの名前がついたそうです。

夏には階段を活かしたステージでイベントが催されます。

洋風・和風・和洋折衷の建築物が立ち並び函館らしい通りです。土産店や喫茶店なども立ち並んでいます。

冬期間は八幡坂とともに、ライトアップされ幻想的な美しさを演出します。

大正12年に、丸井今井百貨店函館支店として建てられました。現在は観光案内所のインフォメーションコーナーや、市内近郊のパンフレットコーナーがあり、インターネットでの情報検索も可能な施設です。

ベイエリアの象徴的な存在で、三角屋根の赤レンガ倉庫が建ち並んでいます。現在はさまざまなお店がひしめくショッピングモールです。

港に浮かぶヨット越しの赤レンガ倉庫群も人気のアングルです。

坂の上から港に向かっての写真が多い中、基坂は坂下から函館山に向かってのアングルがオススメです。

石畳が続く坂の上には異国情緒あふれる旧函館区公会堂がみえます。

中華会館は純中国様式の建築として日本に現存する唯一の貴重な建物です。